

since 1970~2021

ねじ締結の「安全・安心」をデザインする

ハイオスのブランディング戦略

1970年の創業以来、ねじ締結の専門メーカーとして半世紀の歴史を刻んできたハイオス。コーポレートカラーであるオレンジを基調としたデザインの製品群には、同社の「ねじ締めの安全・安心を社会に届ける」というメッセージが込められている。



世界初となる産業用電動ドライバーM型

同社製品「熟練工シリーズ」は、初心者でもたった30秒で熟練工並みのねじ締めが行えるという使いやすさから市場シェアを拡大。2014年の発売以来ベストセラー製品となっている。

「手動ドライバーは、作業者が一日を通して常時握ることになります。その事を踏まえて、人間工学的に機能の持ち良さ、疲労感の無さ、清潔感、見た目の感覚も重視したデザインにしております。また、ドライバー本体がねじ締結の可否を判断することで、作業者の負担を軽減する機能や、様々なシステムとの連動が可能となる機能を付加し、作業の履歴等も瞬時に分かるようにしています。」(同社企画部・外山みどり課長)

社長は「ねじ馬鹿おやじ」——連日、社内の研究室で開発を行う戸津勝行社長は、真正銘の「ねじ馬鹿おやじ」と言っても過言ではなからう。だが、それを自ら名乗ることで他者に親しみやすさや、ねじに対する豊富な知見を想起させる。こうしたトップの姿勢も、企業におけるトータルブランディングにつながっていくのである。



IoTにも対応する「熟練工シリーズ」



熟練工はすべての作業をデータ化してデジタル変革を推進します。

NEW
低トルクタイプ
BLG-4000BC2-LT

- 出力トルク範囲: 0.03-0.2 N・m
- 無負荷回転速度 (HI/LOW): 1,000/690r.p.m

NEW
高トルクタイプ
BLG-7000BC2

- 出力トルク範囲: 0.7-2.8 N・m
- 無負荷回転速度 (HI/LOW): 1,200/800r.p.m

ネジ締め作業のデータは、
ありますか？

熟練工
IoT

パルスシステム内蔵 BLG-BC2シリーズ

モーターの回転パルス数をカウントして、ネジ締めエラーをリアルタイムでより高精度に検出します。またシリアルポート搭載でネジ締めエラーのシステム管理が可能です。作業者の経験や勘に頼らず、ドライバー自身で「熟練工」となりネジ締め品質の向上を実現します。